

第13回講演会・講習会を開催しました！

8月17日（水）、18日（木）に、大阪府立生野聴覚支援学校とホテルアウィーナ大阪を会場に、第13回講演会・講習会を開催しました。今年は、愛媛大学教育学部教授立入哉氏に「聾教育再考～聴覚活用・口声模倣の意義と役割～」と題してご講演をいただきました。240名以上の多くの方に参加していただき、例年通り活気あふれる会になりました。毎年、講習会会場としてお世話をいただいている大阪府立生野聴覚支援学校には、厚くお礼を申し上げます。

では、写真やアンケートからの感想を交えて、第13回講演会・講習会の様子を報告したいと思います。



～講演会～

『聾教育再考
～聴覚活用・口声模倣の意義と役割～』

講師：愛媛大学教育学部 教授 立入哉氏



8月17日（水）午前中の講演会では、講師に愛媛大学教育学部教授の立入哉先生に講演をいただきました。『聾教育再考』というテーマで、聴覚活用の意義から始まり、音読・発話の重要性、言語指導、聴覚障害の本質についてまで、幅広い内容を道筋立ててお話していただいたと思います。講演を聞いて、多くの感想をいただきましたので、少しですが、ご紹介させていただきます。

- ・補聴器は、相手の声を聞くためだけでなく、自分の声を聞くものであるというのを聞き、なるほどと思いました。子どもに発信させることが、いかに大切かが分かりました。
- ・口声模倣の大切さを、このように保護者に伝えたらいいのかと感じました。日本語を身につけるためにできることを、もう一度振り返ろうと思いました。
- ・手話が入ってきたことで、スムーズに会話等ができるようになった反面、あいまいなままでも過ごしてしまうことも増えてきていると思いました。身振りも、言語も大切に、そして、これまで大切にしてきた口話もどちらも大切にしないといけないと思いました。
- ・聴覚に障害のある子どもたちを「学び方の特質」をもつ子どもたちととらえ、逆転の発想を用いて、その集中力の高さを糸口として、社会自立できる言語力を育てていけるように、日々の教材研究を工夫して授業に取り入れて行きたいと確信しました。
- ・聴覚障害児教育の“とらえなおし”と繰り返しておられたことは、京都で長年こだわっていることと重なることが多くありました。大切にしてきたことが、“とらえなおし”と言われる、現在の日本全体の聾教育の現状を考えさせられた講演でした。

アンケートから

18日（水）の午後から19日（木）までの、1日半の講習会では、合計23コマの講座を開き、内容豊富に行えたと思います。では、その様子をご紹介します。

～講習会について～

「聾学校の自立活動」

自立活動をどのように行い、どのように生徒たちに工夫させる内容を用意するかということを改めて大切だと感じました。また、それを日常生活、学校、家庭など連携をとっていくのが大事なことではないかと考えさせられました。

「はじめての聴力検査」

実際に実技ができて、勉強になりました。ていねいに教えていただきありがたかったです。被験者にもなって、検査をうける側の子どもの気持ちがよくわかりました。大人同士だったので、静かに淡々と検査をしましたが、実際子どもの場合は気持ちをほぐしたり、声かけが必要と感じました。

「FM補聴器」

今年度になって、FM補聴器の使用者が急増し、扱いが分からず、困っているところでしたので、基礎から教えていただき、本当によかりました。実物を触らせていたことはもちろん、資料も見やすく、とてもよくわかりました。有難い講座でした。

「人工内耳」マッピング

普段、よく目にしているものでありながら、なかなか具体的なところ、踏み込んだところを調べたり、聞いたりすることができないので、今回、時間は短かかったですが、きかせていただきありがとうございました。

こうやって伝えると、お母さん方にも、わかりやすいなと気づきました。ていねいに教えていただき、ありがとうございます。

「補聴器と私」

率直な話を聞くことができ、少しでもろう者、聴覚障害者の世界を知れてよかったです。障害と上手く、時には悩みながらも、先生として立派に働いている先生方を見て、私は頑張りが足りないと思いました。聴覚障害があるなしは関係なく、1人の人間として、困難はあるし、1人の人間として、自分らしく生きられるような支援ができるようにならないと思いました。

聴覚障害者にとって補聴器がどのような存在であるか、様々な意見が聞けてとても参考になりました。補聴器をつけていることを他人に見られることに関しても意見が分かれていたことにも興味をもちました。

「オーディオグラムと補聴器の特性表」

説明しにくい内容にもかかわらず、わかりやすい説明で有難うございました。ステップごとに問題（エクササイズ）があったので、より理解が深まったと思います。

普段、よく目にしているものでありながら、具体的なところ、踏み込んだところを調べたり、聞いたりすることができていませんでした。今回、時間は短かかったですが、きかせていただきありがとうございました。

「通常学級への支援」

支援のあり方、連携のお話を聞きながら、自分の学校での課題や今後進めていきたいことが具体的なイメージとして浮かんできました。



「聾学校の自立活動」



「人工内耳」マッピング



「補聴器と私」



「オーディオグラムと補聴器の特性表」

「自立活動（幼稚部）」

昨年も受講しました。常に振り返りながら、いろんな所に、アンテナを伸ばしておられる先生の姿勢から学ばせていただくことがたくさんありました。ヒントをたくさんいただけたので、保育の中で、また職員の関係作りの中にいかしていきたいです。ありがとうございました。

「人工内耳（基礎）」

子どもに人工内耳の装用を行う際に、専門家の連携や手術後のハビリテーション、そして家庭も含め様々な体験を積んでいくことが不可欠と学ぶことができた。さらに自分で学んでいこうと思う。

「難聴学級の取り組み」

同じ聞こえにくい仲間が少人数でもいることで、自分たちが聞こえにくい事について意見交換しているところなどを聞き、その中で、自分たちが将来聞こえている人がほとんどの社会の中で、生きていくための学習ができるんだなと感じました。

「補聴器、人工内耳の保守管理」

自分が知らないまま、子どもと接していることが多くあった。子どもの聴力を保護する管理や、機器の適切な扱い方など、子どもと一緒に学んでいきたいです。

「聴能の評価と聴覚学習」

先生が今まで実践してこられた「子どもたちが楽しんで主体的に活動できる教材」をたくさん見させて頂き、とても参考になりました。子どもの気持ちによりそいながら学習をすすめておられる先生の姿が一番心に残りました。

「言語指導」

いつも保育の中で使っているオノマトペをいろんな角度から説明、解説していただき、よく考えて、ピッタリした言葉を選んで使っていかなければいけないと痛感しました。言葉にたくさんのタグをつけるよう、工夫していきたいと思います。

「やさしい音響学」

とても楽しく、また興味深く学ばせて頂きました。生徒たちに自分の発語をフィードバックさせたり客観的にオーラルコミュニケーションをとらえさせる媒体としてとてもアトラクティブだと思いました。

「聴覚生理」

耳の構造について、大変詳しく教えていただき、まだまだ知らないことがたくさんあると改めて思いました。病気の説明も画像を示してもらえたので大変勉強になりました。

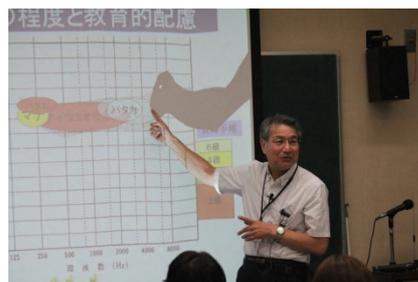
具体的な耳鼻科疾患をスライドで紹介して頂けたので分かりやすかったです。子供たちの聴力低下や耳鼻科疾患の原因などでも思いあたるものもあり、知識も広がりました。



「自立活動（幼稚部）」



「人工内耳（基礎）」



「聴能の評価と聴覚学習」



「やさしい音響学」



「聴覚生理」

「運営について」

1日目の昼休みの移動、講座時間・講座内容について、各講習会場への案内について、レジュメ・資料について、教室や空調について等色々なご意見をいただきました。

その他、たくさんの感想・ご意見をいただきました！

今後の参考にさせていただきます。

ありがとうございました。

今後の活動計画

平成23年11月5日(土) 秋の講演会(大阪府社会福祉会館)
「聴覚障害児におけるリテラシーの実態とその指導」
長南 浩人 先生 (筑波技術大学 准教授)

12月 下旬 冬の学習会案内、機関誌38号発行

平成24年 1月27日(金) 第3回代表委員会(神戸聴覚特別支援学校)
28日(土) 冬の学習会(兵庫県:会場未定)
「演題:未定」
江副 隆秀 先生 (新宿日本語学校 校長)



3月 下旬 集録第13号発行・機関誌39号発行

学校公開のご案内

詳細についてはそれぞれのホームページ(HP)等もご覧ください。

☆京都市立二条中学校 難聴学級

平成23年10月25日(火)

2時15分~4時30分

対象 小学校高学年の児童で、二条中学校
難聴学級への進学を視野に入れている方と
その保護者(引率としての先生方)

連絡先 京都市立二条中学校

〒602-8155 京都市上京区竹屋町通千本東入
主税町911

TEL075-821-1196 FAX075-821-1197

☆兵庫県立神戸聴覚特別支援学校

平成23年10月31日(水) 幼稚部 中学部

11月1日(木) 保育相談部 小学部 高等部

両日9時~12時

連絡先 神戸聴覚特別支援学校

〒655-0013 神戸市垂水区福田1-3-1

TEL:078-709-9301 FAX:078-709-0371

☆兵庫県立こばと聴覚特別支援学校

平成23年10月30日(日)

9時20分~12時

目的 本校の教育に関心をお寄せ下さる
方々に広く呼びかけ、保育公開及び作品展
を通して、本校の聴覚障害教育や聴覚障害
幼児に対する理解・啓発を図ること。

連絡先 〒663-8001 兵庫県西宮市田近野
町8番8号

TEL0798-53-5061 FAX0798-53-5062

☆京都府立聾学校

平成23年11月10日(木) 午前

目的 聾学校教育についての理解を深め、聴
覚障害児の就学相談の一助とする。

対象 市町村教育委員会・小中学校・福祉施
設等の聴覚障害児教育に係わる関係者

(今回は、各学校等に在籍する幼児・児童
生徒及び保護者を対象としていませんので
御注意ください。)

連絡先 京都府立聾学校

〒616-8092 京都市右京区御室大内4

TEL075-461-8121 FAX075-461-8122

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

事務局長 中井 弘征

〒639-1122

奈良県大和郡山市丹後庄町456

奈良県立ろう学校内

TEL:0743-56-2921

FAX:0743-56-8833

メール:kinki02062@hotmail.co.jp